

伊藤忠エネクス株式会社
(証券コード：8133)



個人投資家様向け説明会 (オンライン会社説明会)



2022年3月1日
19:00~



プレゼンター紹介



取締役(兼)専務執行役員
社長補佐

わかまつ

若松 京介

きょうすけ



取締役(兼)常務執行役員
CFO

かつ

勝 厚

あつし



1. 伊藤忠エネクスについて	P3~6
2. 業績推移	P7~10
3. 中期経営計画について	P11~15
4. 中長期的な取組み	P16~18
5. 当社株式の魅力	P19~22
(ご参考)	P23~24



1. 伊藤忠エネクスについて



会社概要



社会とくらしのパートナー

伊藤忠エネクス株式会社

※2021年3月31日時点

業種	エネルギー商社(石油製品・LPガス・電力の卸売、販売等)
経営理念	社会とくらしのパートナー～エネルギーと共に・車と共に・家庭と共に～
代表者	岡田 賢二
本店所在地	東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング27～29階
設立	1961年(昭和36年)1月28日
資本金	198億7,767万円
従業員数	単体：663名 連結：5,558名
発行済株式数	116,881千株
上場証券取引所	東京証券取引所 第1部(2022年4月4日～プライム市場)



当期純利益	122億円
時価総額	約1,200億円
総資産	4,083億円
株主資本	1,362億円
株主資本比率	33.4%
PBR(株価純資産倍率)	0.9倍
PER(株価収益率)	10.1倍
ROE(自己資本利益率)	9.2%
JCR格付	A+(安定的)

※ 2021年3月31日時点
(格付は2021年8月24日付)





ガス

- ・LPガス、都市ガス
- ・産業用ガス
- ・オートガス
- ・ガス容器耐圧検査
- ・LPWA…………など

LPガス・都市ガス供給数

150 万世帯

LPガスオートガススタンド

40 か所



石油

- ・自動車用エネルギー
- ・産業用エネルギー
- ・船舶燃料
- ・タンクターミナル賃貸
- ・アスファルト、Adblueなど

系列CS拠点数

1,687 か所

産業用エネルギー供給

3,000 か所



電力

- ・電力販売
- ・発電・需給調整
- ・地域熱供給
- ・総合エネルギーサービス
- ・再生可能エネルギーなど

電力販売契約件数

19 万件

地域熱供給地区

19 か所



モビリティ

- ・自動車ディーラー
- ・レンタカー
- ・CS向けカードサービス
- ・カーライフサポート
(洗車、車検等)・・・など

自動車ディーラー店舗数

117 店

レンタカー店舗数

430 店



さまざまなアライアンスパートナーとの取組み



社会とくらしのパートナー
伊藤忠エネクス

【大阪ガス】

2017年
大阪ガスと50%ずつ出資するエネアークを設立、LPガスの卸売・小売事業を再編統合

【王子グループ】

2015年
王子HLDの子会社、王子グリーンリソースと電力販売事業を行う王子・伊藤忠エネクス電力販売を設立

【東京電力】

2012年
東京電力が保有する東京都市サービスの株式を取得し、熱供給事業に参入

【九州電力】

2020年
電力の小売事業において、九州電力と包括的に提携していくことに合意

【日産自動車グループ】

2014年
日産自動車系ディーラーの大阪カーライフグループの株式を取得し、カーディーラー事業参入

【ソフトバンク】

2021年
ソフトバンクと災害に強いレジリエントな通信ネットワークの構築に向けて、当社LPガスを優先的に供給・配送する体制開始

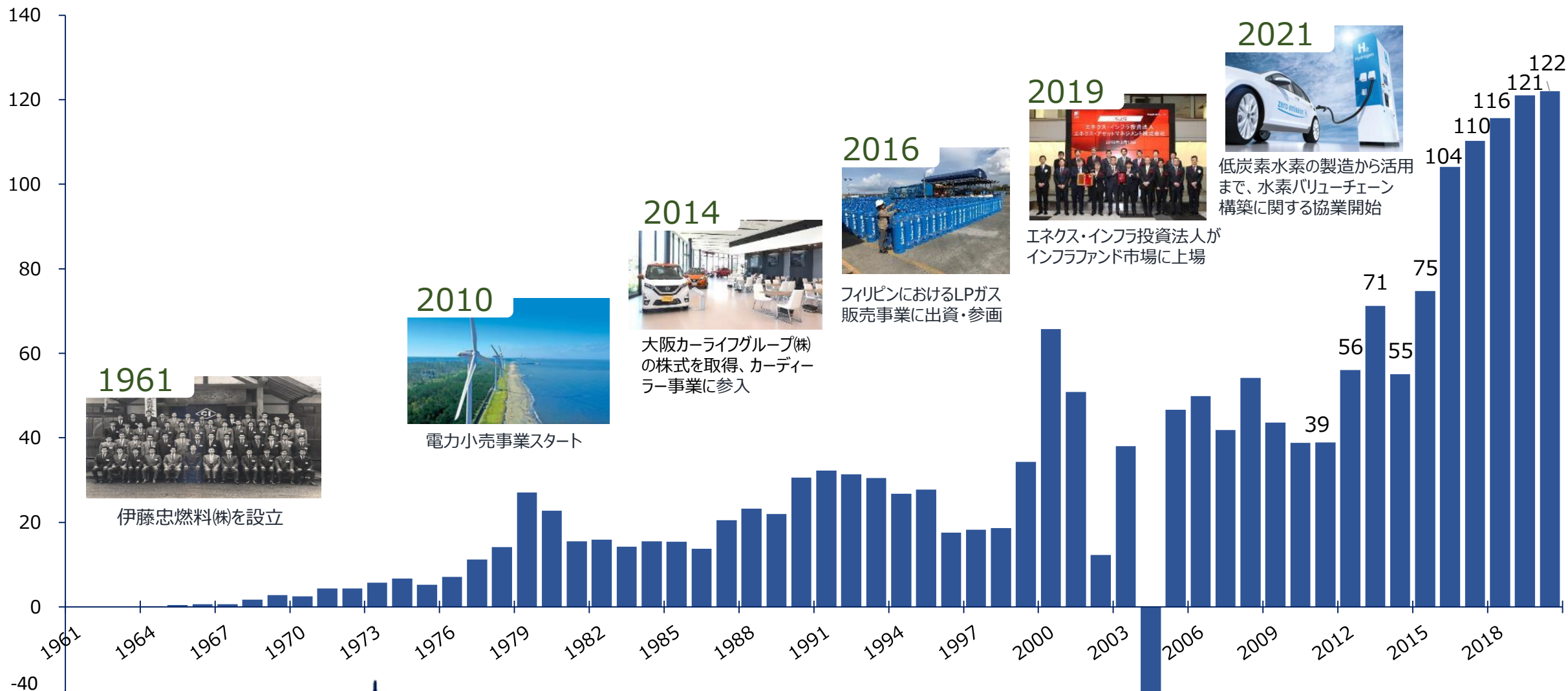
その他の取組み

- * 横浜銀行・ゼロボード
温室効果ガス排出量「見える化」支援実証
- * エア・リキード
水素バリューチェーン構築検討
- * ユーグレナ
国産バイオジェット・ディーゼル燃料の実証
- * 九州電力・西部ガス・日本郵船
LNG燃料供給船の建造/保有の検討
- * 大阪府(日産大阪販売)
地域活性化等に関する取組み
- * 横浜市(東京都市サービス他)
地域熱供給、GTL燃料供給
……………など。

2. 業績推移



業績推移(1961~2020年度)



1961

伊藤忠燃料(株)を設立



2010

電力小売事業スタート



2014

大阪カーライフグループ(株)の株式を取得、カーディーラー事業に参入



2016

フィリピンにおけるLPガス販売事業に出資・参画



2019

エネクス・インフラ投資法人がインフラファンド市場に上場

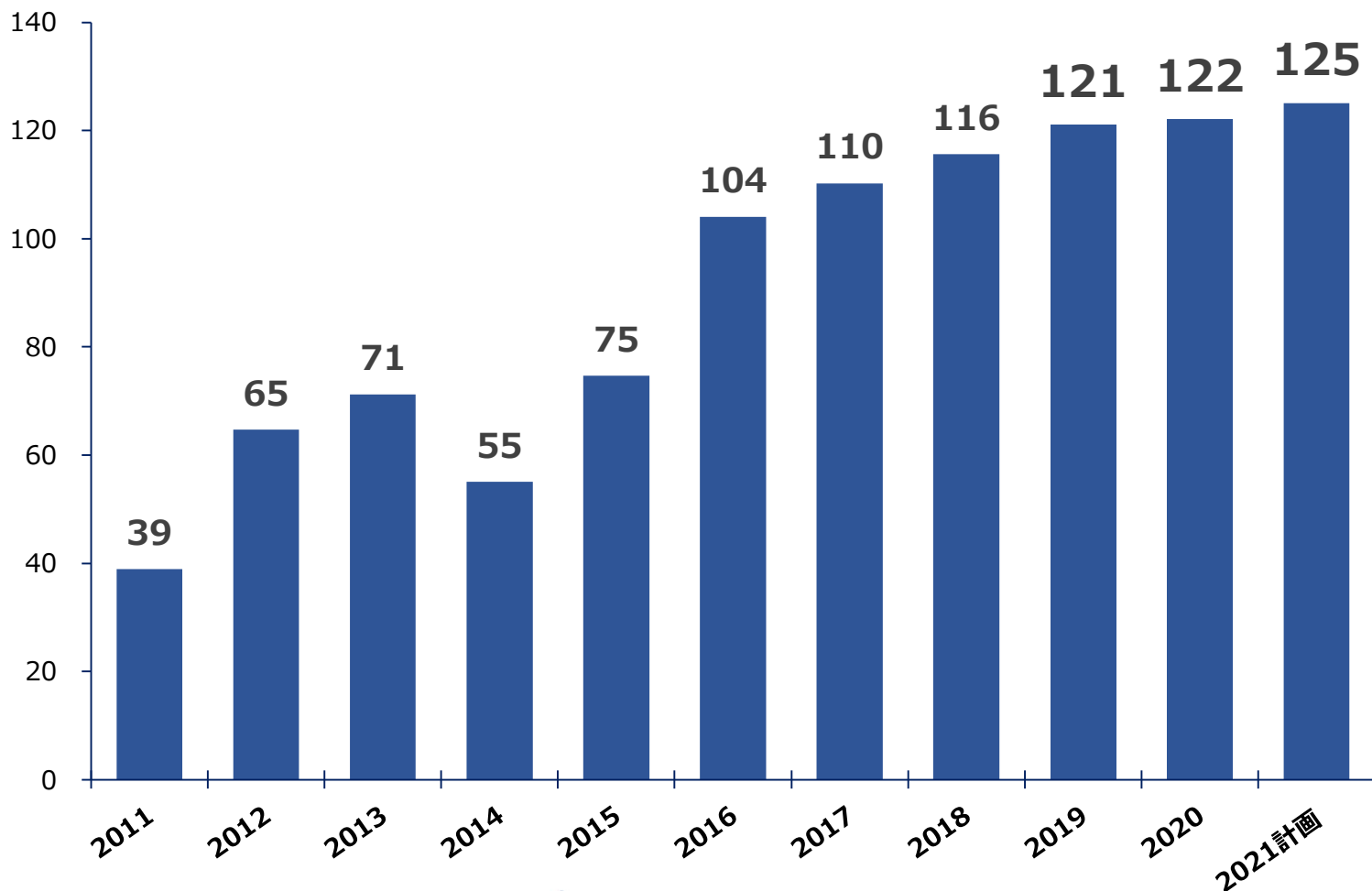


2021

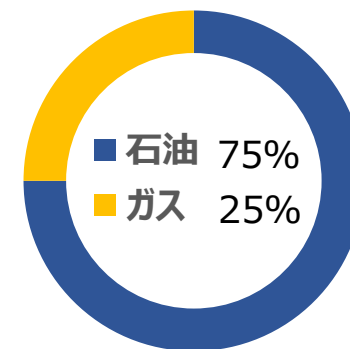
低炭素水素の製造から活用まで、水素バリューチェーン構築に関する協業開始

事業構成の変化

～時代の変化に柔軟に適応～

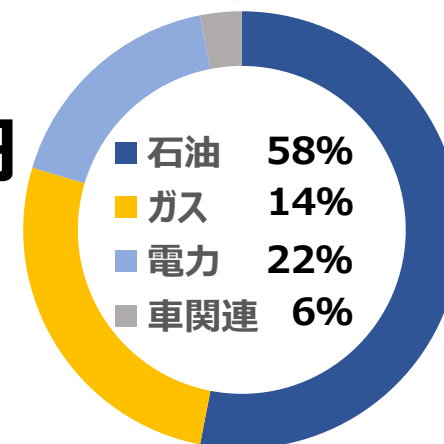


Before
39億円



2011年度
石油・ガスを取り扱う燃料商社

Now
122億円



2020年度
石油・ガス・電力・車などを幅広く取り扱う
複合的な事業構成へ

環境負荷低減を考慮したビジネスにも参画



2022年3月期第3四半期 決算進捗状況



メガソーラーの子会社化に伴う評価益等により増益、**3Q累計の過去最高益を更新**

(億円)	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	増減
売上収益	5,157	6,570	+ 1,413
売上総利益	644	632	△ 12
販管費	▲489	▲498	△ 9
営業利益	159	179	+ 20
持分法による投資損益	8	16	+ 8
四半期純利益	95	113	+ 18
売上総利益に対する販管費率	76.0%	78.9%	+ 2.9pt
中間配当 (円/株)	22	23	+ 1

22年3月期 通期計画	進捗率
----------------	-----

9,000※ 73%

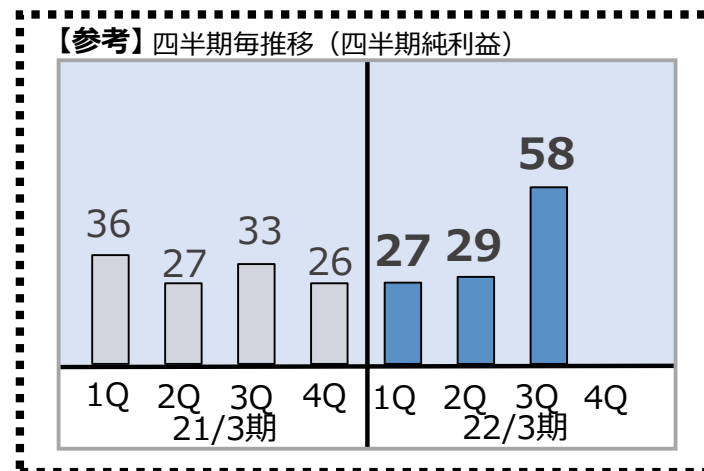
※売上収益は2022年1月31日に当初の8,000億円から9,000億円に通期業績予想の修正を行っております。

205	88%
-----	-----

125	91%
-----	-----

□「第3四半期純利益」は、前年比+19.0%・18億円増加の113億円。

前年同期の原油価格の変動を捉えたオペレーションによる一過性収益の反動等があったものの、LPガス輸入価格上昇に伴う在庫影響やメガソーラーの子会社化に伴う評価益により増益となり、3Q累計の過去最高益を更新。



3. 中期経営計画について



中期経営計画 『SHIFT!2022』



■期間：2021年4月～2023年3月(2カ年)



定量計画

2021年度計画

当期純利益	125億円
ROE	9.0%以上

2021年度～2022年度経営指標

連結配当性向	40%以上
実質営業CF	每期300億円以上
2年間累計投資額	600億円

基本方針

「基盤」 の維持・拡大

- ・国内販売ネットワーク・顧客基盤の更なる充実
- ・DXを活用しBtoCビジネスの積極推進
- ・アジアを中心とした海外事業の展開強化

「環境・ エネルギー」 ビジネスの深化

- ・環境商材をはじめ電力他多様なエネルギーで未開拓エリアへ進出
- ・再生可能エネルギーを中心に、発電から売電まで電力事業の更なる拡大
- ・環境技術力を高め、低炭素・脱炭素型商材拡充

次世代「人材」 の育成

- ・国内外で活躍するマルチ人材の育成
- ・ダイバーシティ推進と多様な価値観の醸成



中計進捗状況／「基盤」の維持・拡大

WP Energy社との業務提携締結



* 2021年5月タイ上場のLPガス大手WP Energy Public Company Limitedの発行済株式の一部取得し、タイLPガス市場に参入

* タイにおけるLPガス・サプライチェーンの構築を目指すと共に再生可能エネルギーの取組みや近隣諸国への進出も検討



TERASELでんきの新プラン誕生

TERASEL



TERASELでんき



* 当社グループのエネクスライフサービスが提供する電力サービス「TERASELでんき」に新プラン誕生

・7月～「超TERASELプラン」
(電気を使うご家庭ほどお得になる新プラン)

・9月～「超TERASEL再エネプラン」
(環境価値※を付加することで、実質的にCO2フリー電気をご利用いただくことができる新プラン)

※再生可能エネルギー由来の非化石証書を使用

トラック塗装事業への参画



* 2021年11月当社グループのエネクスフリートにて、トラックの架装事業(塗装事業)に参入

* トラック売買事業の拡大と共に、トラックオークション市場参入も視野に入れ、既存事業とのシナジーを創出していく。

中計進捗状況／「環境・エネルギー」ビジネスの深化

GTL(Gas to Liquids)燃料



天然ガスから精製された環境負荷の少ないクリーンな軽油代替燃料

- * 2019年NETIS登録、以降販売エリア拡大
- * 横浜市新市庁舎や大手建設会社など、様々な企業等に全国各地で採用
- * 横浜市が取り組む地球温暖化対策の一環としてGTL燃料が推奨
- * 11月日本初のカーボンニュートラルGTL燃料の提供を開始

AdBlue®(アドブルー®)



ディーゼル車の排出ガス中のNOxを分解し、無害化する高品位尿素水

- * 2021年11月現在、全国24か所の配送センターあり、全国各地へ配送可能
- * 2021年7月埼玉にAdBlue®製造工場を新設、新たに製造事業にも参入
- * 5L容器が、リサイクル性、環境への配慮が評価され、2021ジャパンパッケージングコンペティションで経済産業大臣賞受賞

※AdBlueはドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。

自家消費型太陽光発電



脱炭素社会に向け、環境に優しい電力を自家消費するサービス

- * 工場や倉庫などに太陽光発電設備を設置し、発電した電気を自家消費頂くサービス
- * 当社グループ会社のエネクスフリートが運営するCS、コーナン商事が運営するホームセンターなどの国内への導入だけでなく、タイに所在するセンコーグループのグループ会社にも導入しており、今後も積極的に導入検討中

リニューアブルディーゼル(RD)



トラック・バス等で使用され、コストを最小限に抑えられる次世代燃料

- * 2021年5月伊藤忠商事、ファミリーマート、Neste OYJ社グループと協働で、日本初RDのコンビニ配送車両への利用実現
- * 2021年11月伊藤忠商事、東部ネットワークと協働で、日本初商用トラック向け常設RD給油拠点の運用を開始



中計進捗状況／次世代「人材」の育成

ダイバーシティ推進



山根社外取締役



岩本社外監査役



- * 2021年6月～女性社外監査役／岩本氏の就任
(2019年の当社初の女性社外取締役／山根氏に続き、2人目)
- * 若手抜擢を目的とした「チャレンジ登用制度」スタート
- * ダイバーシティステートメント策定

マルチ人材育成



- * 海外事業等に柔軟に対応できる人材育成のための海外就労研修制度
(2021年度はガム、タイ、ドバイ、シンガポールの4か国へ6名派遣)
- * 部門横断型のクロスファンクショナルチームを発足
(新たな商材・事業・仕組みを見つける土壌づくり)



4. 中長期的な取組み



次世代エネルギーの検討

■ 水素ステーションへの取組み

- ・水素バリューチェーンの構築(日本エア・リキード合同会社と伊藤忠商事株式会社との取組み)
- ・商用車向け水素ステーションモデル(高速充填/24時間/365日運営)を自動車メーカー・運送会社と協議中

■ 水素・アンモニア(産業分野の脱炭素化取組み)

- ・循環型社会及びエネルギーの有効活用を目的とした資源リサイクルビジネスを検証中
- ・水素/アンモニア燃焼機器開発、実証テストを協議中(機器メーカー及び産業用顧客との協議を開始)

■ 蓄電池

- ・フライホイール蓄電池の実証実験(2022年初 予定)
- ・産業用顧客向け新たな再生エネルギービジネスの構築(PV+蓄電池+EVなど)

■ 都市開発(脱炭素を目指す街づくりへの参画)

- ・カーボンニュートラルシティ構想参画、モビリティへの水素活用/再生エネルギー活用等、脱炭素の取組み提案
- ・横浜市のYSBA(横浜スマートビジネス協議会)への参画

■ 船用アンモニア燃料

- ・船舶・供給の安全性、仕様、環境への影響評価等の共同検討を行う協議会設立
- ・当社含む23企業・団体と共に立ち上げ、現在34企業・団体に拡大、早期社会実装化に向け協議中



【TOPIC】メガソーラー(大規模太陽光発電所)の取得

* 群馬県高崎市のメガソーラーの100%連結子会社化
⇒子会社化に伴う評価益により、**3Q実績において大幅増益**
(開発関連等 **+29億円**)



■ 当社グループの再生可能エネルギー発電容量：**109.2MW**
(その他、当社がスポンサーを務める上場インフラファンドのエネクス・インフラ投資法人は8物件、139.8MWの太陽光発電所を所有)



【発電事業会社概要】

特別目的会社	発電所名称	パネル容量	運転開始日
TAKASAKI メガソーラー合同会社	ソーラーフレンドリーシティ	11.6MW	2021年9月7日
SHINKO 合同会社	Sanko 72 Country Club 40MW	53.7MW	2021年9月3日
合計	—	65.3MW	—

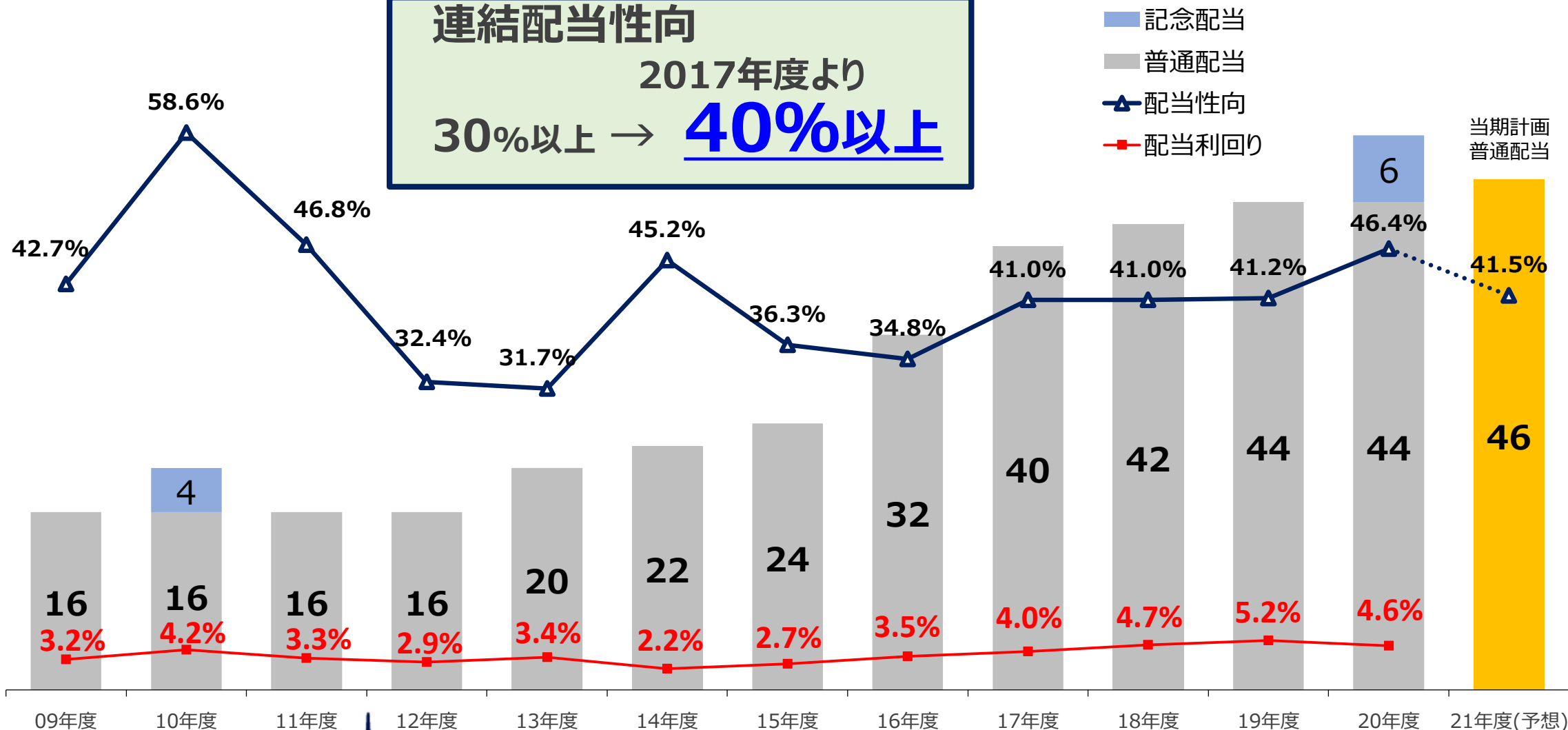


5. 当社株式の魅力



株主還元（年間配当金の推移）

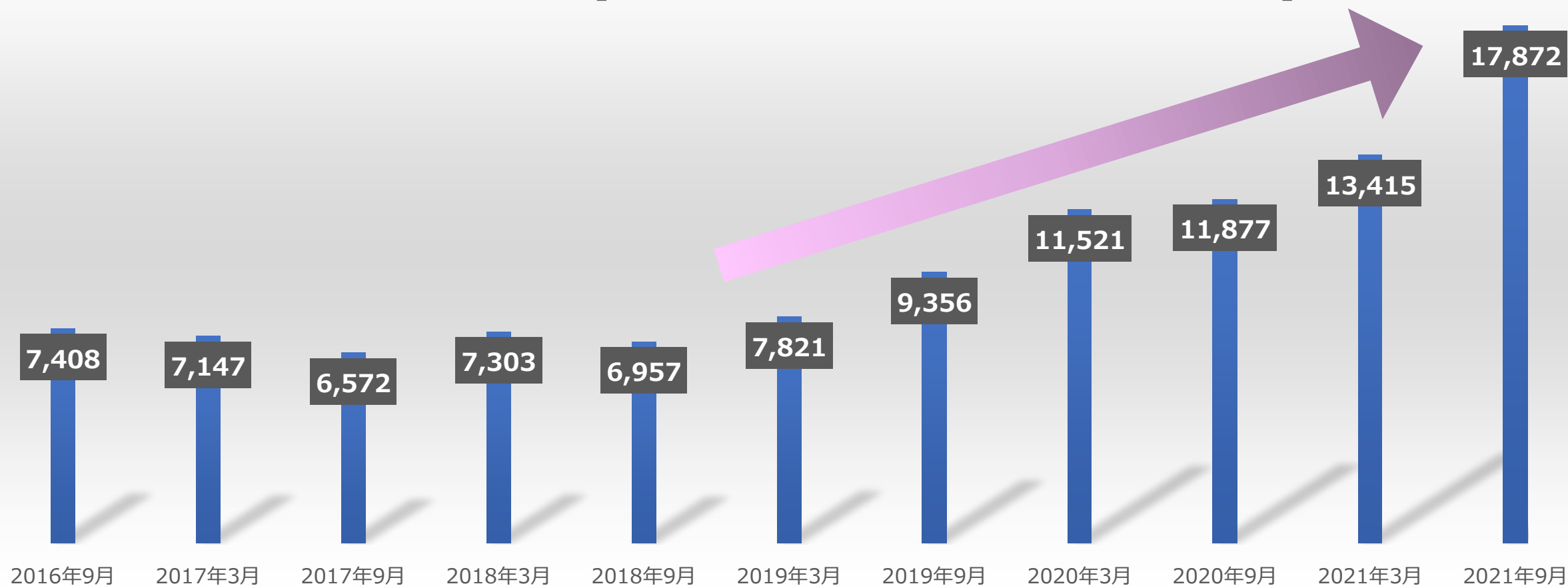
連結配当性向
2017年度より
30%以上 → **40%以上**



個人株主数の推移

個人株主数推移(2016年9月～2021年9月)

単位：名



	評価名	評価内容
	健康経営優良法人2021	地域の健康課題に即した取組みや日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。2017年～「健康経営優良法人ホワイト500」、2021年「健康経営優良法人」に認定。
	JPX日経中小型株指数	東証と日経新聞が共同で算出を行っている「投資者にとって投資魅力の高い会社」で、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行っている企業が選定される指数。2018年度より、4年連続選定。
	GOMEZ IRサイトランキング2021	ブロードバンドセキュリティ(株)が国内上場企業3,745社のコーポレートサイトを対象に調査。2020年度初の銅賞受賞につき、2021年度は初の銀賞受賞。「情報開示の積極性・先進性」の評価が高く、28位/3,745社、業種別(卸売業)11位/312社。
	日興IR企業ホームページ充実度ランキング	日興アイ・アール(株)が国内全上場企業3,888社のホームページを対象に、企業のステークホルダーが情報を取得し、状況を把握するための要素をどの程度備えているかを客観的な評価項目に基づき、調査・選出。2019年度より、3年連続「最優秀サイト」に選定。
	MSCI ESG格付け	MSCIが行うESG投資格付け。各企業のESGリスクの度合いと、これらのリスクをどの程度適切に管理しているかを基準に、企業を「AAAからCCC」の7段階で格付けを実施。2020年は「AA」評価を獲得。
	日経スマートワーク経営	日本経済社が2017年から開始した、Smart Workを実践している企業を新しい「日本の優れた会社」として評価する制度。企業の「人材活用力」「イノベーション力」「市場開拓力」を総合的に評価。「第5回日経スマートワーク経営調査」にて星3.5を獲得。
	This is MECENAT	公益社団法人企業メセナ協議会によって実施されている認定制度。多様な企業メセナ（文化・芸術活動の支援を通じた社会貢献活動）を顕在化するもの。当社主催イベント「ことばの力を楽しむ会」が「This is MECENAT2021」の認定活動として選定。

※詳細はコーポレートサイト：<https://www.itcenex.com/ja/csr/evaluation/index.html>

(ご参考)株価の推移

単位：円



IRメール配信のご案内

- 伊藤忠エネクス(IR)のIR情報をメールでお知らせします。
配信登録は右記QRコードからお願い致します。



■ 問合せ先

伊藤忠エネクス株式会社 財務経理部 IR室

TEL 03-4233-8025 FAX 03-4533-0103

E-MAIL enex_irpr@itcenex.com

■ ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

